



Ethical Procool

エシカルプロクール

取扱い説明書

製品案内：上塗材

製品名	荷姿	塗布面積 (1工程あたり)	内容	系統
プロクール F	14 kg / 缶 4 kg / 缶	90 m ² / 缶 25 m ² / 缶	フッ素樹脂	1液 水系
専用中塗り材：プロクールF 中塗り	14 kg / 缶 4 kg / 缶	90 m ² / 缶 25 m ² / 缶	アクリルシリコン樹脂	
プロクール Si	14 kg / 缶 4 kg / 缶	90 m ² / 缶 25 m ² / 缶	変性アクリルシリコン樹脂	1液 水系
プロクール A	14 kg / 缶	90 m ² / 缶	アクリル樹脂	1液 水系

製品案内：下塗材

製品名	荷姿	塗布面積 (1工程あたり)	内容	系統		
金属用	弱溶剤プライマー エポ	16 kg / 缶	53～123 m ² / 缶	変性エポキシ樹脂	1液 弱溶剤	
	アクアサビノン	16 kg / 缶	105～140 m ² / 缶	1液反応硬化型 エポキシ変性アクリル樹脂	1液 水系	
	エシカルプライマーJ 主剤14.4kg 硬化剤1.6kg	16 kg / 缶	95～114 m ² / 缶	2液速乾弱溶剤形 変性エポキシ樹脂	2液 弱溶剤	
非金属用	屋根壁 弱溶剤クールシーラー	14 kg / 缶	82～140 m ² / 缶	遮熱用エポキシ樹脂	1液 弱溶剤	
	屋根壁	水性ホワイトシーラー	15 kg / 缶	80～150 m ² / 缶	カチオン系アクリル樹脂	1液 水系
	壁	ソフトウォール	16 kg / 缶	10～53 m ² / 缶 *塗装方法により異なります	可とう形改修塗材E	1液 水系
防水用	壁	断熱ソフトウォール	12 kg / 缶	12～24 m ² / 缶	断熱性可とう形改修塗材E	1液 水系
	マルチプライマーEP 主剤11.2kg 硬化剤4.8kg	16 kg / 缶	100～123 m ² / 缶	2液反応硬化型エポキシ樹脂	2液 強溶剤	
	マルチプライマーEP 希釈専用シンナー	16 kg / 缶 4 kg / 缶	-	エポキシ系シンナー	溶剤	

製品案内：中塗材

製品名	荷姿	塗布面積 (1工程あたり)	内容	系統	
屋根用	断熱パワールーフ	12 kg / 缶	40 m ² / 缶	アクリル樹脂断熱性塗材	1液 水系
鋼板屋根 防水用	バリストップ	18 kg / 缶	36～60 m ² / 缶	アクリルゴム塗膜防水材	1液 水系

* JIS 仕様に関しては別途ご相談ください。

改修下地	一般名と処置	下地調整剤							防水用	備考	
		弱溶剤 プライマー エポ	アクア サビノン	エシカル プライマーJ*	弱溶剤 クールシーラー	水性ホワイト シーラー	ソフトウォール	断熱 ソフトウォール	マルチ プライマーEP		
金属系	鉄骨	2種～3種ケレン	●	●	●	-	-	-	-	-	
	銅板	2種～3種ケレン	●	●	●	-	-	-	-	-	
	トタン	2種～3種ケレン	●	●	●	-	-	-	-	-	
	電気亜鉛メッキ鋼板	2種ケレン	●	-	●	-	-	-	-	●	
	ステンレス鋼板	2種ケレン	●	-	●	-	-	-	-	●	
	アルミニウム板	2種ケレン	●	-	●	-	-	-	-	●	
非金属系	ケイ酸カルシウム板	ケイカル板・天井ボード	-	-	-	-	●		●	密度0.8以上	
	プレキャストコンクリート部材	PC板	-	-	-	●	-		●		
	コンクリートブロック		-	-	-	●	●		●		
	ALCパネル		-	-	-	●	●		-		
	石膏・スレートボード	天井ボード	-	-	-	●	●		●		
	打ち放しコンクリート	RC、SRC	-	-	-	●	●		●		
	セメントモルタル	RC、SRC	-	-	-	●	●		●		
	窯業系サイディングボード		-	-	-	●	●		●		
	スレート、カラーベスト、コロニアル	フレキシブル板	-	-	-	●	●※		●		
	石綿スレート	アスベスト入り板	-	-	-	●	-		●		
防水	アスファルト防水	2種～3種ケレン	-	-	-	-	-	-	●	(注1)	
	塩ビ・シート防水	2種～3種ケレン	-	-	-	-	-	-	●	(注1)	
	ウレタン防水	2種～3種ケレン	-	-	-	-	-	-	●	(注1)	
	FRP防水	2種～3種ケレン	-	-	-	-	-	-	●	(注1) (注2)	

* JIS仕様

※スレート、カラーベスト、コロニアルについては、溶剤系下塗りを推奨致しております。水性ホワイトシーラーを使用する場合は、下地との付着を確認してからにしてください。

●は適合、但し、付着の悪い塗装面はご相談下さい。

(注1)各防水材は2種から3種ケレンとし、出来るだけ旧塗膜を除去して下さい。改修下地の場合ですので、新規下地の場合はご相談下さい。(注2)FRP防水は目荒しが必要です。

施工上の注意事項【改修下地】

- 脆弱した塗膜の表面及び浮き、膨れ、剥がれ等をディスクサンダー、ワイヤーホール等の動力工具及びスクレイパー、ワイヤブラシ等の手動工具を併用して、サビ、油分、付着物等を除去して下さい。
- 下地のひび割れ部等は、シーリング及び下地調整材で補修を行って下さい。
- 粉化物、付着物等は高圧洗浄機を使用し除去、清掃を行い、その後下地を十分に乾燥させて下さい。
- 下地処理(旧塗膜・下地の調査を行い、劣化状況(劣化レベル)に基づいた適切な処理を実施して下さい)。
- 塗布量が少ない場合、防錆性及び付着性が低下する為、必ず標準塗布量を塗布して下さい。
 - フッ素樹脂塗膜、シリコン樹脂塗膜の場合は施工できません。
 - どぶ漬け溶解亜鉛メッキ鋼材、塩化ビニル被膜鋼板は施工できません。
 - 新規下地の場合は別途ご相談下さい。

※改修工事の詳細については、国土交通省改修工事ガイドブックを参照下さい。

【その他】

- 下地処理の洗浄等に使用される酸性の洗浄液は、その溶解作用により塗膜が変色する場合がありますので十分注意して洗浄を行って下さい。
- 下地の強アルカリ性が予測される場合は、エフロレッセンスが発生し仕上塗膜に影響を及ぼす場合がありますので、溶剤系プライマーをご使用下さい。
- 下地調整の方法により、実際の色と色見本とは多少異なる場合がありますのでご注意ください。

上塗り材／主材

- 標準塗装仕様に記載の数値は使用量の標準塗布量等目安となる数値です。下地の状態、建物形状、気象条件、施工条件など個々の条件によって異なります。
- 主材には特殊セラミックスが配合されている為、必ず使用直前(各工程)に3分以上攪拌機(低速回転)で攪拌して下さい。尚、攪拌が十分でない場合、塗料の効果が低下する可能性があります。上塗りの最終養生は24時間以上です。
- 下地調整の工程は塗装工事における責任範囲には含まれません。
- 既存塗膜が2液溶剤系フッ素樹脂塗料、シリコン樹脂塗料の場合は施工できません。
- 低温時5℃以下、多湿時85%以上の施工は避けて下さい。また、施工後、24時間以内に降雨、結露等があった場合、水の影響で色むら、泡等が発生する場合があります。
- 降雨、降雪、強風の場合は施工を避けて下さい。又、作業後に降雨、降雪の恐れがある場合は雨(雪)養生をして下さい。更に、夜間の気温が氷点下になる恐れがある場合は午後からの作業を中止して下さい。
- 高温、夜露、朝露、結露、スコール等の懸念がある場合は日の高いうちに作業を終え、日没までに十分乾燥させて下さい。尚、乾燥が十分でない場合、垂れ、むら、剥離等を引き起こす原因となりますので注意して施工下さい。
- 常に結露が発生する地域及び時期での施工は避けて下さい。
- 標準塗装仕様に準じて所要量及び塗装間隔を厳守して下さい。剥離、割れ、色相変化などの原因となります。また、主材を一度に厚塗りすると塗膜の割れが発生することがありますのでご注意ください。
- 一度凍結すると使えなくなります。冬季の管理・輸送にはご注意ください。
- 材料は直射日光を避け、40℃以下の冷暗所で保管し、屋外又は換気の良いところでのみ使用して下さい。(施工時には材料の保管所を確保下さい。万一確保出来ない場合は、シート等を被せる等して保管条件をお守り下さい。)

*その他塗料の取扱いについての一般的な注意事項の詳細についてはSDS(安全データシート)を参照して下さい。

金属系／下塗り材

- 標準塗装仕様に記載の数値は使用量の標準塗布量等目安となる数値です。下地の状態、建物形状、気象条件、施工条件など個々の条件によって異なります。
- 各標準塗装仕様に準じて所要量及び間隔時間を厳守して下さい。剥離、割れ、色相変化などの原因となります。
- 低温時5℃以下、多湿時85%以上の施工は避けて下さい。上塗りの艶引け等が発生する要因となります。
- 塗装中及び塗装後6時間以内に降雨、積雪、結露、強風等が予想される場合は、施工を避けて下さい。
- 材料は直射日光下を避け、40℃以下の冷暗所で保管し、屋外または換気の良いところでのみ使用して下さい。
- 材料を取り扱う場合は、特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法を厳守して下さい。
- 容器は密閉しておいて下さい。又、開栓後はなるべく早く使い切ってください。
- 火花を生じさせない工具を使用して下さい。静電気放電に対する予防処置を講じて下さい。
- 容器からこぼれた時はは、布で拭き取って水で張った容器に保管して下さい。
- 内容物、容器は国や地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄して下さい。
- 容器や塗装具を洗浄した排水はそのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼす恐れがある為、排水処理場などの施設に持ち込むか産業廃棄物処理業者に処理を依頼して下さい。

※新規下地の場合はご相談下さい。

※施工の際の要点、注意事項の詳細についてはSDS(安全データシート)を参照下さい。

- 2020-04 本書は2020年4月時点の情報を基に作成しております。

各上塗り材は使用直前
(工程ごと)に必ず3分
以上、攪拌機(低速
回転)で攪拌してから
塗布してください。

防水面／下塗り材

- 標準塗装仕様に記載の数値は使用量の標準塗布量等目安となる数値です。下地の状態、建物形状、気象条件、施工条件など個々の条件によって異なります。
- 下地の乾燥は十分行って下さい。(含水率10%以下、pH10以下)、既存塗膜に溶剤が残存すると、膨れ現象が生じる恐れがありますので十分に乾燥後、上塗りして下さい。
- 水切部で上下の瓦が塗料で接着している箇所は皮すき、クレン棒で縁切りを行って下さい。
- 瓦の破損、役物の釘浮き、シーリング切れなど最終チェックを行って下さい。
- 下地調整として付着物(苔、藻、劣化層)は高圧水流(10MPa程度)で除去して下さい。
- 下地調整が十分だと塗膜剥離の原因となったり、光沢が出ない等の仕上り不良になる場合があります。
- 水洗い後は1日以上乾燥させて下さい。また素地表面が雨、露などで濡れている場合は十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。(光沢低下、膨れ、割れ、剥がれの原因となります。)
- 塗装器具は、速やかにラッカーシンナー等で洗浄してください。
- シーラー塗装により、既存塗膜にふくれ・ちぢみ現象が発生する事があります。事前に試し塗りで確認して下さい。
- 膨れ・ちぢみ現象が発生した場合、既存塗膜を完全に除去して下さい。
- 容器は密閉しておいて下さい。又、開栓後はなるべく早く使い切ってください。
- 塗装中及び塗装後6時間以内に、降雨・積雪・結露等が予想される場合は施工を見合わせて下さい。
- 火気厳禁。高温高湿を避け、冷暗所に保管して下さい。
- 火花を生じさせない工具を使用して下さい。静電気放電に対する予防処置を講じて下さい。
- 容器からこぼれた時はは、布で拭き取って水で張った容器に保管して下さい。
- 容器や塗装具を洗浄した排水はそのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼす恐れがある為、排水処理場などの施設に持ち込むか産業廃棄物処理業者に処理を依頼して下さい。

*施工の際の要点、注意事項の詳細についてはSDS(安全データシート)を参照下さい。

非金属系／下塗り材

- 標準塗装仕様に記載の数値は使用量の標準塗布量等目安となる数値です。下地の状態、建物形状、気象条件、施工条件など個々の条件によって異なります。
- コンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は水分8%以下、pH10以下になるまで十分に乾燥させて下さい。
- 使用前に十分に混ぜて下さい。屋外又は換気の良いところでのみ使用下さい。
- 低温時(5℃以下)、多湿時(85%以上)での塗布は避けて下さい。
- 塗装中及び塗装後6時間以内に、降雨、積雪、結露等が予想される場合は、施工を見合わせて下さい。
- 一般の水系塗料や市販種ペン等と絶対に混ぜないで下さい。
- 日光から遮断し容器は密封の上、換気の良いところで保管下さい。
- 水性ホワイトシーラーはカチオン系塗料です。一般の水系塗料に使用した刷毛、ローラー等の用具を共有すると固りますので避けて下さい。
- ※施工の際の要点、注意事項の詳細についてはSDS(安全データシート)を参照下さい。

標準施工仕様

金属面への塗装

<適用下地/鋼板屋根・トタン・アルミ・ステンレス面等>

工程	製品名	標準塗布量 (kg / m ² / 回)	塗回数	塗装間隔時間 (23℃)	希釈材	希釈率	塗装方法
下地調整	・塗装面の付着物(ミルスケール、埃、苔、藻、ごみ等)は高圧洗浄で入念に除去し、十分に乾燥させてください。 ・下地処理は2種ケレン以上を行い、油類は溶剤拭きで除去し、サビ、浮き、剥がれ、粉化物等をディスクサンダー、ワイヤーホイール等の動力工具及びサンドペーパー、ワイヤーブラシ等の手動工具を併用して周辺部分を含めて入念に除去してください。						
下塗り	弱溶剤プライマー エポ	0.13~0.30	1~2	16時間以上 7日以内	塗料用 シンナー	0~12%	刷毛 ウールローラー エアレス
上塗り	プロクールSi / A ----- プロクールF中塗り+プロクールF	0.15	2 ----- 1+1	3時間以上 7日以内	清水	0~5%	刷毛 ウールローラー エアレス

◇強靱用 JIS 仕様の場合の下地材：エシカルプライマー J (2液弱溶剤) 0.14 ~ 0.17kg/m²/回 塗装間隔 4h 以上 7日以内 塗料用シンナー 0 ~ 10%希釈

◇オール水系の場合の下地材：アクアサビノン (1液水系) 0.11 ~ 0.15kg/m²/回 塗装間隔 16h 以上 7日以内 清水 0 ~ 5%希釈

非金属面への塗装

<適用下地/コンクリート・モルタル・スレート・ALC等>

工程	製品名	標準塗布量 (kg / m ² / 回)	塗回数	塗装間隔時間 (23℃)	希釈材	希釈率	塗装方法
下地調整	・粉化物、付着物等は清掃・高圧洗浄し、下地を十分に乾燥させてください。 ・旧塗膜の劣化部分は周辺部分を含め除去し、ごみ、粉塵、油分等の付着物をワイヤーブラシ、ウェス、皮すき、サンドペーパー等で入念に除去してください。 ・下地のひび割れ、傷、不陸、欠損部の修理など補修が必要な箇所は、塗装工事前に実施してください。						
下塗り	弱溶剤クールシーラー	0.1~0.17	1	16時間以上 7日以内	無希釈	-	刷毛 ウールローラー エアレス
上塗り	プロクールSi / A ----- プロクールF中塗り+プロクールF	0.15	2 ----- 1+1	3時間以上 7日以内	清水	0~5%	刷毛 ウールローラー エアレス

◇オール水系用途の場合の下地材：水性ホワイトシーラー (1液水系) 0.1 ~ 0.18kg/m²/回 塗装間隔 3h 以上 7日以内 清水 0 ~ 5%希釈

◇JIS 仕様の場合の下地材：エシカルシーラー J (1液弱溶剤) 0.2 ~ 0.8kg/m²/回 塗装間隔 4h 以上 7日以内 無希釈

防水面への塗装

<適用下地/ウレタン防水・アスファルト防水等>

工程	製品名	標準塗布量 (kg / m ² / 回)	塗回数	塗装間隔時間 (23℃)	希釈材	希釈率	塗装方法
下地調整	・高圧洗浄でごみ、汚れ、油分等を入念に除去し、下地の種類によって適切な処理を実施してください。 ・旧塗膜の浮きや脆弱部分を撤去し、下地は十分に乾燥させてください。 ※シルバー塗膜上のレベモル施工の場合、シルバー面を完全にシールするように0.3kg/m ² /2回塗りをしてください。						
下塗り	マルチプライマーEP	0.13~0.16	1	16時間以上 5日以内	専用 シンナー	0~18%	刷毛 ウールローラー エアレス
上塗り	プロクールSi / A ----- プロクールF中塗り+プロクールF	0.15	2 ----- 1+1	3時間以上 7日以内	清水	0~5%	刷毛 ウールローラー エアレス

◇防水層への施工については、下地によって多様性があるため、全て要相談です。必ずご連絡ください。

標準施工仕様

壁用・微弾性

<適用下地/コンクリート・モルタル・スレート・ALC等>

工程	製品名	標準塗布量 (kg / m ² / 回)	塗回数	塗装間隔時間 (23℃)	希釈材	希釈率	塗装方法	
下地調整	・ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油分等の付着物をワイヤーブラシ、ウェス、皮すき、サンドペーパー等で除去し、乾燥した清潔な面にしてください。							
下塗り	断熱ソフトウール	0.5~1.0	1~3	5~16時間以上 7日以内	清水	0~1.2 L	多孔質ローラー	
		0.5~1.0	1~3	5~16時間以上 7日以内	清水	0.6~1.2 L	吹付(リシガン) 口径 4~6mm 吹付圧力 0.5~0.6MPa	
	又は		0.3~0.6	1~2	5時間以上 7日以内	清水	0.9~1.2 L	ウールローラー・中毛
	ソフトウール		0.8~1.5	1	5時間以上 7日以内	清水	0.3~0.9 L	多孔質ローラー
上塗り	プロクールSi / A ----- プロクールF中塗り+プロクールF	0.7~1.2	1~2	5時間以上 7日以内	清水	0.6~0.9 L	吹付(リシガン) 口径 4~6mm 吹付圧力 0.5~0.6MPa エアレス	
		0.15	2 ----- 1+1	3時間以上 7日以内	清水	0~5%	刷毛 ウールローラー エアレス	

中塗り材

工程	製品名	標準塗布量 (kg / m ² / 回)	塗回数	塗装間隔時間 (23℃)	希釈材	希釈率	塗装方法	
下地調整	・下地の種類によって各素材ごとの標準施工仕様に則り、適切な下地処理・下塗り材塗装を行ってください。							
下塗り								
中塗り	屋根・断熱用	断熱パワールーフ	0.3	2	3-4時間以上 7日以内	清水	0~5%	刷毛 ウールローラー エアレス
	又は		0.3~0.5	2	5時間以上 7日以内	清水	0~5%	刷毛 ウールローラー エアレス
上塗り	プロクールSi / A ----- プロクールF中塗り+プロクールF		0.15	1~2 ----- 1+1	3時間以上 7日以内	清水	0~5%	刷毛 ウールローラー エアレス

安全衛生上の注意事項

- 取扱い上の注意**
 - (1) 取扱い時には皮膚に触れないようにし、適切な保護マスク、保護手袋、保護眼鏡、保護衣を着用下さい。
 - (2) 取扱い後は、手洗い、うがいを十分に行ってください。
 - (3) 塗装、乾燥等を行う作業場所では、換気装置を設け作業中及び作業後も十分換気を行ってください。
 - (4) 本来の用途以外に使用しないで下さい。
- 緊急時及び応急処置**
 - (1) 目に入った場合は直ちに大量の清水で洗い流し、速やかに医師の診断を受けて下さい。
 - (2) 皮膚又は髪に付いた場合、直ちに汚染された衣服を脱ぎ皮膚を石鹸を使いシャワーで洗ってください。必要があれば医師の診断を受けて下さい。
 - (3) 飲み込んだ場合、気分が悪い時は水を口をすすぎ、直ちに医師へ連絡して下さい。
 - (4) 吸入した場合、新鮮な空気を吸い呼吸しやすい姿勢で休息下さい。必要があれば医師の診断を受けて下さい。
- 保管上の注意**
 - (1) 気温が0~40℃で直射日光の当たらない屋内に保管して下さい。
 - (2) 中身が露出した場合は乾燥した砂等を散布した後回収するかウエス等で拭き取って下さい。
 - (3) 子供の手の届かないところに保管して下さい。
- 廃棄上の注意**
 - (1) 使用済みの容器及び未使用の廃塗料を廃棄する場合は国や地方自治体の規則に従って産業廃棄物として、産業廃棄物処理業者に委託し処理して下さい。
 - (2) 本材料を廃棄する場合は地面や排水溝等に流さないで下さい。
 - (3) 詳細な内容が必要な場合は製品安全データシート(SDS)を参照下さい。

● 施工仕様の各数値はすべて標準のもので、施工方法、施工条件により多少の幅が生じることがあります。

● 溶剤系製品をお取扱いの際は、特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法を厳守してください。